

ハローキャリアワーク通信

令和7年12月
教育総合センター
事業推進担当課



12月20日に「教育総合センターメッセ」が開催され、ハローキャリアワーク「教育総合センターでの年1回のイベントをみんなのアイデアで盛り上げよう！」のプログラムに応募して集まった子どもたちが、2日目の活動として、前回の活動でそれぞれが作成したクイズラリーカードの配布と景品渡しを行いました。

教育総合センターメッセが開始する午前10時に先立ち、子どもたちは主催者側として9時に集合し、午後から参加する1名を除く4名で準備を開始しました。まず、流れの確認と役割の説明を受けた後、クイズラリーの5つの問題を、解答のヒントとなる場所に掲示しました。その後、自分たちがデザインしたクイズの解答を記入するカード（裏面に案内図等が記されている）をどのように渡すかなどを話した結果、2名ずつ、入口で渡すグループと、受付でクイズラリーの説明をするグループに分かれることになりました。また、「センターメッセにようこと。ゆっくりお楽しみください」と、渡す際の言葉も考えました。さらに問題を掲示した場所が裏面の案内図に「」と記されていることなども説明することになりました。活動時間が3時間なので、初めの40分間を受け付け、次の40分



間をそれぞれが教育総合センターメッセを体験する時間、最後に景品渡しの時間として40分間を割り振りました。最後の40分間には振り返りの時間も含まれているので活動は30分間程度になりました。メッセ開始まで少し時間があったので、再度各コーナーを自由に回るか、それぞれのグループで話し合うか、子どもたちが決めることになりました。

いよいよ開始の10時になり、親子連れの方などが来場し始めました。初めは緊張のためか「ようこ



そ～～」の声が小さめで聞き取りにくかったですが、徐々に声も大きくなり次々にカードを渡すことができました。家族で来場する方、子どもだけで、大人だけで来場する方も、来場者全てにカードを渡していくので、段々と忙しくなってきました。

開始からあっという間に40分が過ぎ、それぞれ体験しに行きました。その後、子どもたちが戻る前に、用意していたカードがなくなりかけ、追加で印刷をしました。





を受け取りに来る方々が増えましたが、不足景品を追加したりお薦めの景品を紹介したりするなど、手際よく進めていました。この活動も30分が過ぎ、控室に戻って振り返りカードの記入です。疲れた様子もなく、振り返りカードに書き込んだ内容の中には「小さい子の目線で話ができた」「景品交換の場所が一番楽しかった」「みんなと協力して活動できた」「カードを渡す時の声の大きさを考えた」など、楽しんだり、子どもたちなりに配慮したりしていた様子がうかがえました。解散する際に2名から「楽しかったので午後もこの活動をしたいです。いいですか」との希望があり、家族の許可が得られ、急遽、午後の活動にも参加しました。



以下、活動とメッセの様子です。



ハロー・キャリアワーク
参加者の受付対応

11時20分になり、子どもたちが景品渡しの場所に戻ってきました。景品は、クイズラリーに記載した来場者が、ノベルティ数種類から1点を選び、さらに5種類を編み込んだ色リボン、5種類の色のシャープペンシルから1つをそれぞれ選んで受け取ります。子どもたちは、クイズラリーのカードを点検し「この中から1つ選んでください。」「このリボンから1つ、シャープペンから1つ選んでください」と声を掛けて、手渡していました。次第にクイズラリーを終えて景品



1名は、2時までの活動、もう1名は最後までです。学校行事の都合で午後から参加した子どもは2時40分頃に到着し、景品渡しを行いました。午前中から引き続きの子どもは、午後からの子どもに教えながらも楽しく活動し、慣れたもので「受付」にも出向いていました。メッセ終了の4時になり活動時間も終わりを迎えます。午後の部から参加した子どもも振り返りをして、「楽しかった」との声のもとに、メッセの終了時刻まで、センターの各場所を回っていました。子どもたちのお陰で、受付、景品渡しと楽しい雰囲気の中で行えました。そして、来場者の数も971名と過去最多になりました。



クイズラリーの説明をしている様子